

患者癒やす 夜の工場



製鉄記念室蘭病院で写真展

製鉄記念室蘭病院（室蘭市知利別町）の「せいてつギャラリー」で8日から、室蘭の工場夜景の写真を集めた作品展が始まった。美しい写真の数々に、患者や見舞客らが足を止めてじっと見入っている。（芝垣なの香）

同病院は地元で活動する芸術家らの作品を紹介し、病院から癒やしを提供しようとしてギャラリーを開いている。今回は室蘭夜景の写真サイト「『室蘭工場夜景＋α展』実行委員会」を主宰する、室蘭市職員のアマチュア写真家森大輔さん（42）が協力した。

作品展は7月17日まで3部構成で開催。毎回A2判の作品10点を展示する。現在の第1部「室蘭工場夜景」（6月19日まで）は、こうこうと輝く新日鉄住金室蘭製鉄所や工場群に雷が落ちる瞬間を収めたものなど、貴重な写真ばかり。森さんは「室蘭の魅力再発見につながるばつれしい」と話している。第2部「室蘭夜景」は20日～7月3日、第3部「産業遺産」は7月4～17日。

室蘭工場夜景の写真が並ぶ「せいてつギャラリー」